

令和7年度の主な事業

令和7年度の当初予算に計上した主な事業について、分野ごとに紹介します。

1 みんながまちの主角、 ほっとして安全な暮らしができるまち



大河原町消防団 消防演習

行政区運営事業(行政区長等)	3,994万2千円
交通安全施設維持管理事業	2,895万円
防災行政無線関係事業	1億3,711万6千円
※同報系防災行政無線施設整備事業	1億3,100万円
各種スポーツ推進事業	567万9千円
※町民総合スポーツ大会等業務委託料	200万円

3 中心・安全・先進で、 ぎゅぎゅっと便利がつまったまち



MTB S-PARK

公園維持管理事業	5,081万9千円
※公園長寿命化計画策定業務委託料	2,200万円
白石川右岸河川敷等整備事業	3億7,706万円
※賑わい交流拠点施設整備盛土造成等工事	3億5,000万円
道路排水路改良事業	6,452万円
※学校前線道路側溝改良工事	2,300万円
鷺沼排水区雨水整備事業	2億1,056万円

5 志たくましく、 おおらかに学び続けられるまち



大小 公開授業の様子

学校施設維持管理事業	8,980万5千円
※小中学校特別教室等空調設備設置工事	8,200万円
小・中学校入学準備支援金交付事業	7,600万円
大河原南小学校校舎改修事業	1億9,134万円
金ヶ瀬公民館改修事業	4,810万円
※金ヶ瀬公民館屋上防水等改修工事	4,500万円

2 地域ですくすくと育ち、 あったかな生き方がかなうまち



子育て支援センターの様子

各種健康診査・がん検診事業	5,524万円
※胃がん検診委託料(胃内視鏡検査導入分を含む)	1,372万2千円
不妊検査・不妊治療費助成事業	271万円
インフルエンザ等ワクチン接種事業	5,460万5千円
※予防接種委託料(帯状疱疹追加分)	1,252万5千円
参加支援事業(重層的支援体制整備事業)	195万9千円
※参加支援事業委託料(居場所カフェ)	138万6千円

4 ブランド化とプロモーションで、 誰もがはたらつと働けるまち



桜まつりの様子

ほ場整備事業	2,233万6千円
※金ヶ瀬西地区事業費負担金	2,094万9千円
工業団地整備事業	1億3,410万円
※中の倉地区代替用地購入	7,744万円
桜樹保護事業	2,234万6千円
一目千本桜ブランド化事業	1,870万8千円

6 まちの未来へとつなぐ、きりっと 丁寧な仕事をする役場があるまち



窓口の様子

総合計画の策定と進捗管理事業	120万円
※住民満足度調査集計分析業務委託料	40万円
情報システム標準化共通化事業	2億4,259万9千円
アナログ規制点検・見直し事業	440万円
役場庁舎維持管理事業	1億1,251万3千円
国勢調査事業	1,061万1千円

■公民館・駅前図書館

中央公民館では、文化協会加盟団体が開催する芸術文化発表機会を支援するとともに、地域産業の振興、活性化を行うにぎわいプラザとの連携を図りながら、生涯にわたり楽しく学び、集い、自己表現ができる環境づくりを推進します。

建物の老朽化が進んでいる金ヶ瀬公民館の改修工事を計画的に行い、安全管理に努めます。

駅前図書館では、幅広い年代に向けて情報を発信することにより、読書や学習などの自己研鑽の場、そして郷土の文人等に関する講演会を開催するなど、地域の学習活動となるよう努めます。

■民俗資料の保護と活用

今後想定される人口減少等を考慮しながら、「生涯学習の里」構想を踏まえ、多面的な検討・協議を進めるとともに、民俗資料の活用として、旧大河原衛生センターに保管している収蔵品の一部を各小学校で展示し、社会科学習の一助とする「移動民俗資料展」に取り組みます。

6

まちを未来へとつなぐ、
きりっと丁寧な仕事をする役場があるまち

■行政経営と進捗管理

新たにスタートする第3期大河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げた各施策ごとの目標指標と取組について、毎年評価検証を行うことで後期基本計画、総合戦略の実現に向けた進捗管理に努めます。

■自治体DX(デジタル・トランスフォーメーション)

「紙での提出」「対面での対応を要する」などといった、アナログ的な手法となっている事務手続きの点検・見直しを行い、デジタル技術を導入することで、手続きが効率化・迅速化する等、住民や事業者、行政にとってプラスとなる仕組みづくりを進めます。

■役場庁舎環境整備

会議室等事務スペースの確保やペーパーレス化への段階的な対応として、庁舎会議室無線LANの整備やオンライン会議のための環境整備を行います。

※施政方針の全文は、町公式ホームページに掲載しています。

